

区内の温室効果ガス排出量算定結果について

1 温室効果ガス（二酸化炭素）排出量

都内の市区町村が連携・協働して取り組むオール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において平成 19 年度から 62 市区町村別に排出量を算定・公表しています。

「新宿区第三次環境基本計画」における区の排出削減目標の基準年度である 2013 年度の排出量とデータが公表されている直近 2 年の排出量を比較すると以下のとおりとなります。

年度 排出量	2013(H25)	2016(H28)		2017(H29)		
	1,000t-CO ₂	1,000t-CO ₂	13 年度比	1,000t-CO ₂	13 年度比	前年度比
産業部門	99	75	- 24.2%	63	- 36.4%	- 16.0%
民生部門	2,579	2,248	- 12.8%	2,238	- 13.2%	- 0.4%
家庭	633	560	- 11.5%	574	- 9.3%	+ 2.5%
業務	1,947	1,688	- 13.3%	1,664	- 14.5%	- 1.4%
運輸部門	453	388	- 14.3%	381	- 15.9%	- 1.8%
廃棄物部門	70	72	+ 2.9%	77	+ 10.0%	+ 6.9%
合計	3,201	2,783	- 13.1%	2,759	- 13.8%	- 0.9%

2 二酸化炭素排出量の主な変動要因（前年度比）

(1) 電力の二酸化炭素排出係数※の改善により排出量全体が減少

※二酸化炭素排出係数・・発電量 1 kWh 当たりの二酸化炭素排出量

(2) 産業部門における建設業のエネルギー消費量の減少

(3) 家庭部門における世帯数及び世帯あたりエネルギー消費量の増加

(4) 業務部門における省エネ化によるエネルギー消費量の減少

(延床面積当たりのエネルギー消費量が減少)

3 各区の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量(2017 年度)

(1,000t-CO₂)

